

平成27年4月13日(月) 8:30~  
長野オリンピックスタジアム

第57回JABA長野大会 準決勝戦

VS

信越硬式野球クラブ

2回、先頭に加藤が内野安打で出塁すると野地が送りバント・本田が三振で2アウト2塁から木内のレフトへのタイムリーヒットで1点を先制する！

逆転された直後の5回、先頭の島田がヒットと盗塁で2塁まで進むと2番増野の内野安打で生還しすぐさま同点とすると、さらに4番加藤の内野安打と野地の内野ゴロの間にそれぞれランナー2人が生還しこの回3点を取りすぐさま逆転に成功する！

2点を追いかける9回、先頭の島田が四球と盗塁・相手のエラーが絡み1アウト3塁まで進み、1番宮川の犠牲フライで1点を返すが2アウトと追い込まれる。しかしここから2番増野が内野安打と盗塁・相手エラーが絡み2アウト3塁。続く荒川が四球を選び、続く4番加藤がレフト線へのタイムリー2塁打を打ち2アウトの土壇場から同点に追いつく！！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		安打	0	2	0	1	3	1	0	0	0
明治安田生命	得点	0	1	0	0	3	0	0	0	2	6
	安打	1	0	1	3	1	2	4	0	2×	14
信越硬式野球クラブ	得点	0	0	0	2	0	2	2	0	1×	7
	安打	1	0	1	3	1	2	4	0	2×	14

1点リードで迎えた4回、先頭打者にヒットで出塁され、1アウトから5番に四球・6番がヒットで1アウト満塁とされ続く7番の内野ゴロの間に1点を返され、更に2アウト2・3塁から8番打者にライト前タイムリーヒットを浴び逆転されてしまう。

4-2で迎えた6回、1アウトから5番にデットボール・6番が送りバント・7番がレフト前ヒットで2アウト1・3塁とされ続く8番打者にセンター前タイムリーヒットで1点を返され、さらにこのセンター前の打球処理を3塁に送球しこの送球が暴投となりその間にもう一人ランナーが生還しこの回2点を返され同点となる。7回には2アウトから3~6番打者の4連打で2点を取られ再度逆転を許してしまう。

土壇場で追いついた直後の9回、2アウトから5番に四球を与え6番がセンター前で1・2塁。続く7番の打席の投球時にワイルドピッチが絡み2アウト2・3塁のピンチ。そしてワイルドピッチ直後の3球目を7番打者にライト前タイムリーヒットを浴びサヨナラゲームで敗戦。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	7	宮川	公法人第三部	5	4	0					1		1		0.000
2	8	増野	丸の内支社	5	4	2	2				1	1		1	0.500
3	DH	荒川	東京本部	5	3	1		1						2	0.333
	R→DH	手鏡	品川支社	0	0	0									#DIV/0!
4	9	加藤	新宿支社	5	4	3	2	1			2		1		0.750
5	2	野地	総合法人第五部	3	2	0					1		1		0.000
	2	尾嶋	丸の内支社	2	1	0								1	0.000
6	3→6	本田	さいたま支社	5	5	0									0.000
7	6→5	木内	事業法人部	4	4	2	2				1	1			0.500
8	4	島田	広域組織法人部	4	2	1	1					2	1	1	0.500
9	5	森川	総合法人第一部	3	3	0									0.000
	H	竹内一	町田支社	1	1	0									0.000
	3	竹内和	事業法人部	0	0	0									#DIV/0!
計				42	33	9	7	2	0	0	6	4	3	6	0.273

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	古田	立川支社		3 2/3	17	41	5	2	1	2	2	4.91
2番手	重信	池袋支社		3	14	51	5	2	1	4	3	9.00
3番手	大久保	千代田支社		0	2	5	2	0	0	0	0	#DIV/0!
4番手	岡	千住支社	×	2	10	41	2	1	2	1	1	4.50
計				8 2/3	43	•	14	5	4	7	6	6.23